



手をとって

【文責】

かとう学園 Co
高田 英也

かとう学園(河東小・河東西小・河東中)は、2学期末を迎え、生活や学習のまとめを行っています。師走のあたたかく気ぜわしい日々ではありますが、子どもたちが楽しみに取り組んでいる学習や行事もあります。子どもたちが達成感を味わい、自己肯定感や自己有用感を育むことができるよう努めているところです。今年一年間、地域、保護者の皆様には、本学園の教育活動にご理解いただき、たくさんのご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ふるさと学習の充実のためにできること

～第4回 かとう学園運営協議会～

11月29日(火)に河東小で、第4回かとう学園運営協議会が行われました。今回は、令和5年度の生活科・総合的な学習の時間の中心となるテーマについて熟議しました。最初に、学園より、本年度の生活・総合的な学習の時間(ふるさと学習)の実践について説明がありました。その後、次年度のふるさと学習の中心になるテーマについて、グループ協議を行いました。時間が足りないくらい熱心に熟議が行われ、学園の方向性も見え始めました。坂井委員より「学校を超えて、学びのステージを地域に広げていってほしい。」というまとめがありました。



【学園のカリキュラムの説明】



【委員による熟議の様子】



【福教大・坂井准教授の指導助言】

柿の皮むき体験 ～河東小6年 家庭科～

福岡県農林水産部から、河東小に、たくさんの柿が届きました。この柿は、学校での調理実習で皮むき体験をすることで、県産果実のおいしさに親しんでほしいという目的で、無償提供されているものです。さっそく11月30日(水)、12月2日(金)に、6年家庭科で「柿の皮むき体験」がありました。この授業にGTとして、食進会の方々に来ていただきました。へたととったり、親指を上手に使って包丁を動かしたりするのは、少し難しかったようですが、GTの指導のおかげで上手に皮むきができました。



【食生活改善推進会GTの様子】

「かとコミ農園」感謝の会 ～河東西小5年 総合的な学習の時間～

12月2日(金)に、河東西小で5年総合的な学習の時間「かとコミ農園感謝の会」を行いました。河東コミュニティ運営協議会・西田副会長を招待し、各クラスごとに学習発表・歌・劇・ゲームをし、感謝の気持ちを伝えました。その後、子ども大学でのさつまいも販売体験で売り上げた収益金を西田副会長に贈呈しました。来年度も、かとコミ農園でたくさんのことを教えていただきたいと思っています。



【西田副会長に贈呈している様子】

児童虐待防止啓発活動 ～河東中 ボランティア活動～

11月18日(金)に、宗像市教育委員会主催の児童虐待防止の街頭啓発活動が、サンリブ、マックスバリュ、ルミエール、トライアルの4会場で行われました。ボランティア活動として河東中生徒68名が参加し、市役所、児童相談所、宗像警察署の方々と協力し、児童虐待防止のビラを配布しました。自分たちにできることを判断し、協力して児童虐待防止の啓発活動ができました。



【河東中ボランティア ビラ配布の様子】